

日本で撮影され、オーストラリアで見つかった写真の数々  
(いずれも「Untitled.Showa」提供、共同)



# 日本の古い写真

# 豪で持ち主待つ

**300 枚**



かつて現在の京都市にあった大映京都撮影所で撮られたとみられる写真



金森さんがあーストラリアで見つけた「ミゼル化」を写真



奈良市にあった奈良ドリームランドで撮影されたと  
みられる集合写真

【シドニー共同】写っているのは誰？撮影地はどこ？古い写真の手掛かり求む。オーストラリアに住む日本人が、1930～60年代ごろに日本で撮影されたモノクロ写真約300枚を見つけ、情報を募って被写体となっている人やその家族らに写真を返す取り組みを始めた。



写真家の金森  
マユさん  
(本人提供 共同)

写真家の金森  
マユさん  
(本人提供、共同)

オーストラリア在住の写真家、金森マユさん(58)は2015年、旅行先の南東部ビクトリア州デールズフォードのフリーマーケットで袋詰めにされた写真の束を見つけ購入した。「日本人が写った写真に違いない」と思い続けてい

がなぜここに」。不思議に思い店主に尋ねたが、分かったのは「州内のジーロングに住んでいた故人宅から出てきた」ということだけだった。

子どもが写った家族の記念写真や、学校や職場の行事で撮影されたとみられるものなど多岐にわたる。背景などから一部の撮影地が判明。京都や奈良など関西が多かった。

た金森さんは、新型コロナウイルス禍で外出が制限された昨年、自宅にこもって写真をデジタル化。オーストラリア在住のウェブデザイナーで知人の村岡稚恵さん(56)＝長門市出身＝が、情報提供を呼び掛けたポータルサイトを昨年8月に開設した。

「無題の昭和」を意味する「Untitled. Shōwa」(wa)と名付けられたサイトには金森さんが購入した金

眞が掲載され、閲覧者が写真についての情報をコメントとして残せるようになつてい る。

4～7月はオーストラリア、9月には京都で写真展を開催する予定で、関西学院大（兵庫）の学生と手掛かりを 調査する計画もある。

金森さんは「古い写真からさまざまな背景を探ることがができる。一人よりも大勢で探せばそこから新しい何かが生まれる可能性もあるし、日暮交流のきつかけにもなれば」と話している。